

ムフリッディン外相発林外相宛書簡

タジキスタン共和国外務大臣

ドゥシャンベ市

2022年2月2日

閣下

タジキスタン共和国と日本の外交関係樹立30周年という喜ばしい機会に際し、閣下と日本国民の皆様にご心からのお祝いとともにご挨拶を申し上げます。

日本は我が国の外交政策において特別な地位を占めており、タジキスタン政府は独立当初から、日本を信頼できる友人であり、発展の重要なパートナーであると考えています。

過去30年以上にわたり、多くの地域的及び国際的諸問題に関するタジキスタンと日本の立場の近似、両国のハイレベルの会談、政府間署名文書、日本のタジキスタンへのODAなどが、二国間関係の発展及び拡大に価値のある貢献をしてきました。

我々は貴国との現在の協力レベルに満足しており、タジキスタンにおける重要な社会経済プロジェクトの実施と人材育成の推進に感謝しています。

また、我々が重視する「中央アジア+日本」対話を含む多国間の枠組み内において、緊密な協力を継続することを楽しみにしております。

両国国民の利益のために、相互に関心のある様々な分野において、二国間関係を共同の努力により今後強化していくことを確信しています。

この機会に、大臣閣下のご健勝とご成功をお祈りします。

閣下に対し敬意を表します。

敬具

シロジッディン・ムフリッディン

日本国外務大臣  
林芳正 閣下